

別記様式第2号 (その2の1)

(用紙 日本産業規格A4縦型)

教育課程等の概要

(工学研究科宇宙航空理工学専攻(修士課程))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	特別研究A(研究指導)	1前	2			○			5	3	1			
	特別研究B(研究指導)	1後	2			○			5	3	1			
	特別研究C(研究指導)	2前		2		○			5	3	1			
	特別研究D(研究指導)	2後		2		○			5	3	1			
	小計(4科目)	—	4	4	0	—			5	3	1	0	0	0
基礎科目	宇宙航空数学特論	1・2前		2		○			1					隔年
	宇宙航空物理・化学特論A	1・2後		2		○				1				隔年
	宇宙航空物理・化学特論B	1・2後		2		○			1					隔年
	小計(3科目)	—	0	6	0	—			2	1	0	0	0	0
講義	材料・構造特論A	1・2前		2		○			1					隔年
	材料・構造特論B	1・2前		2		○				1				隔年
	空力・推進特論A	1・2後		2		○					1			隔年
	空力・推進特論B	1・2後		2		○			1					隔年
	制御・情報特論A	1・2前		2		○				1				隔年
	制御・情報特論B	1・2前		2		○			1					隔年
	宇宙航空理工学特論	1前		2		○			2	1	1			共同・集中
	小計(7科目)	—	0	14	0	—			5	2	1	0	0	0
セミナー	材料・構造セミナーA	1・2前		3		○			2	1				隔年・共同
	材料・構造セミナーB	1・2後		3		○			2	1				隔年・共同
	材料・構造セミナーC	1・2前		3		○			2	1				隔年・共同
	材料・構造セミナーD	1・2後		3		○			2	1				隔年・共同
	空力・推進セミナーA	1・2前		3		○			2		1			隔年・共同
	空力・推進セミナーB	1・2後		3		○			2		1			隔年・共同
	空力・推進セミナーC	1・2前		3		○			2		1			隔年・共同
	空力・推進セミナーD	1・2後		3		○			2		1			隔年・共同
	制御・情報セミナーA	1・2前		3		○			2	2				隔年・共同
	制御・情報セミナーB	1・2後		3		○			2	2				隔年・共同
	制御・情報セミナーC	1・2前		3		○			2	2				隔年・共同
	制御・情報セミナーD	1・2後		3		○			2	2				隔年・共同
	小計(12科目)	—	0	36	0	—			6	3	1	0	0	0
研究科共通	高速現象と可視化技術	1・2後		2		○			1					
	工業数学特別講義	1・2前		2		○								兼1
	情報数理工学特別講義	1・2前		2		○								兼1
	原子力工学特別講義	1・2後		2		○								兼1
	技術英語特別講義A	1・2前		2		○								兼1
	技術英語特別講義B	1・2後		2		○								兼1
小計(6科目)	—	0	12	0	—			1	0	0	0	0	兼2	
合計(32科目)			—	4	72	0	—		6	3	1	0	0	兼2
学位又は称号		修士(工学)	学位又は学科の分野				工学関係							
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
大学院工学研究科宇宙航空理工学専攻修士課程の修了要件は、本課程に2年以上在学し、指導教員の指導のもとに、必修科目及び選択科目を含め、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果を提出して、その審査及び試験に合格することとする。ただし、優れた成績を上げた者については、在学期間は1年以上で良い。						1学年の学期区分			2期					
						1学期の授業期間			15週					
						1時限の授業時間			90分					